

オミクロン株対応ワクチンでの追加接種開始について

接種の目的・効果・安全性

【目的等】

現在、感染の主流となっているオミクロン株及び今後の変異株に対する有効性が期待できることから、重症化予防、感染予防、発症予防を目的に接種を行うもの

【オミクロン株対応ワクチンの種類及び特徴】

(種類) ファイザー社製ワクチン (12歳以上)、モデルナ社製ワクチン (18歳以上)

(特徴) ①新型コロナウイルスの従来株とオミクロン株 (BA.1型) に対応した2価ワクチン

②追加接種にのみ使用が可能で、現時点では一人1回の接種に限る

【効果】

①従来型ワクチンを上回る重症化予防効果及び、短い期間であるが発症予防効果や感染予防効果が期待

②異なる2種類の抗原があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応するため、今後の変異株に対して有効である可能性がより高いことが期待

(参考) オミクロン株に対する従来株ワクチンとの中和抗体価の比較 ファイザー社製 1.56倍 モデルナ社製 1.75倍

【副反応】

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状

<接種後7日間に現れた症状>

発現割合	症 状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10～50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節症	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1～10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、 ^{発熱} 発熱

特例承認に係る報告書より改編

オミクロン株対応ワクチンでの追加接種開始について

岡山市の接種方針

(1) 開始日：令和4年9月22日(木) 予約開始、9月28日(水) 以降順次接種開始

(2) 接種対象者：初回接種(1・2回目)を完了した12歳以上の全ての住民

(3) 接種間隔：前回の接種から少なくとも5か月以上。ただし、今後、接種間隔が短縮される可能性あり

(4) 接種の優先順位等

		岡山市の方針案
9月28日以降	<p>国の指針</p> <p>① 現行の4回目接種対象者のうち未接種者 ・60歳以上の者 ・「基礎疾患を有する者」「重症化リスクが高いと医師が認める者」 ・医療従事者等及び高齢者施設等の従事者</p> <p>② ①の完了が見込まれば、配送ワクチンの範囲内で、初回接種が終了した者の接種に移行 (例) 社会機能を維持するため必要な事業の従事者や年代別など ※移行する際の対象者については、地域の実情に応じて対応可能</p>	<p>3・4回目未接種者全てを対象に、順位付けをせず一斉開始</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に配送されるワクチン量が、60歳以上の4回目未接種者分を大幅に上回るため ・接種券を送付済みであり、段階的に接種対象者を拡大することで、市民や医療機関に混乱をきたす恐れがあるため <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜9月～10月ワクチン配送量＞ ファイザー社151,494回分、モデルナ社9,700回分 計161,194回分 ＜60歳以上4回目未接種者＞ 約7.3万人 ＜3・4回目接種券発送済の未接種者＞ 約20万人 ※年内に希望するすべての方が接種可能な量のワクチンが供給
10月中旬以降	<p>③ 上記①②以外の初回接種を完了した者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4回目未接種すべてを対象に引き続き接種を継続 ・4回目接種済者

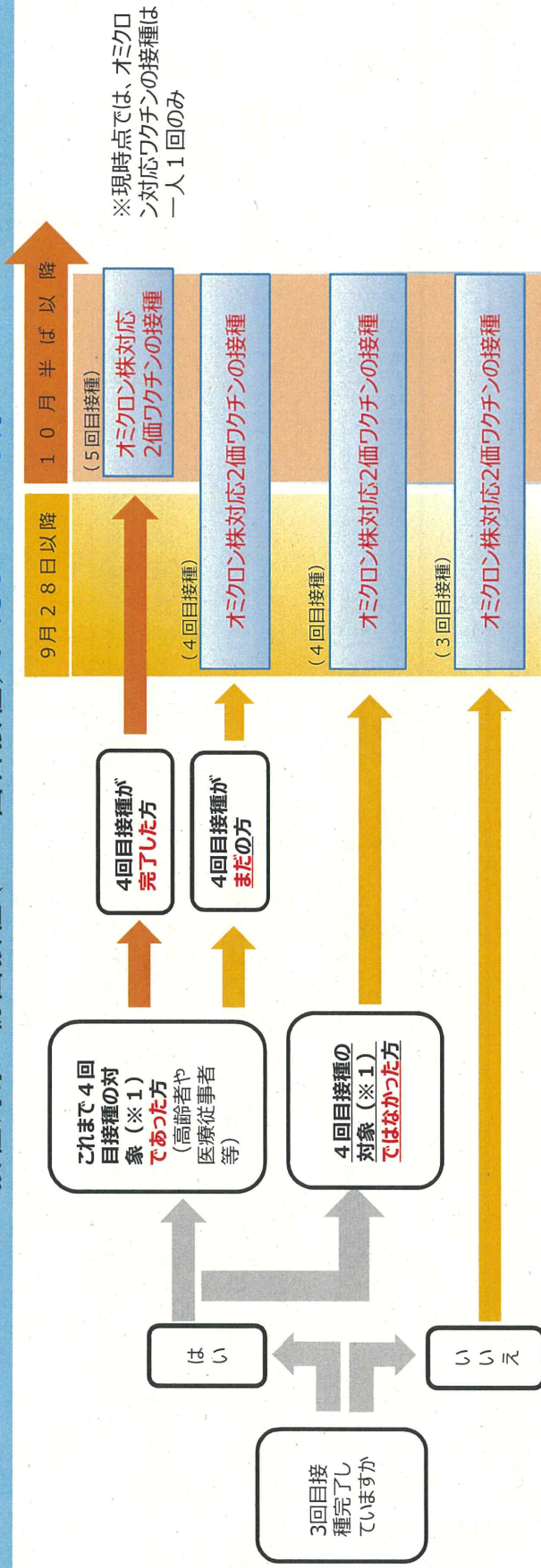
(5) 新型コロナウイルス感染症罹患の方のワクチン接種について

- 感染した方のワクチン接種については、体調が回復してから3か月が一つの目安となっており、その場合も前回接種から規定の接種期間が経過していることが必要
- 前回接種から必要な接種期間が経過している方であれば、回復後ただちに接種することも可能

(6) 制度周知：接種対象者等の概要については、市ホームページや公式SNSによる周知に加え、リーフレットの全戸配布を実施

12歳以上で初回接種（1・2回目接種）が完了している方の接種時期について

接種対象：初回接種（1・2回目接種）が完了している方



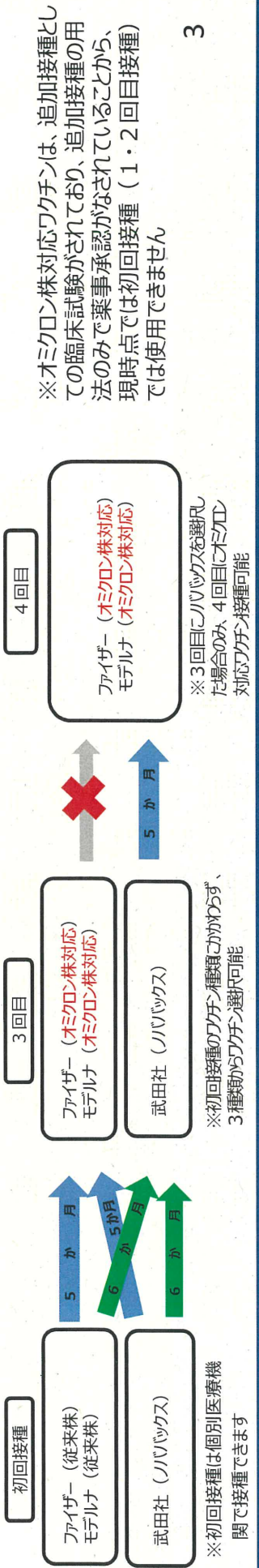
(※1) 3回目接種終了から5か月が経過し、

① 60歳以上の方 ② 18歳以上で基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ③ 医療従事者等及び高齢者施設等の従事者など

12歳以上で初回接種（1・2回目接種）がまだの方について

○オミクロン株対応ワクチンを接種するには、従来型ワクチン（1価ワクチン）による初回接種（1・2回目接種）を完了する必要があります (※)

- ① 従来型のファイザー社/モデルナ社ワクチンは、今後、国からの供給が限定的になるため、早期の接種をおすすめします
 - ② 武田社（ノババックス）ワクチンは、初回（1・2回目）及び3回目を使用することができます。一般的に副反応が低いと言われています
- 今から初回接種（1・2回目接種）をする方の使用するワクチン及び接種間隔について



オミクロン株（BA.1対応型）対応ワクチンでの追加接種開始について

接種券について

※国が定める前回接種から必要な期間は、現状5か月。今後、短縮される可能性あり

【18歳以上で、前回接種から5か月を経過している方】

○送付済みの3回目・4回目用の接種券での接種可能

※紛失した場合は、岡山市電子申請サービスまたは市コールセンターにおいて再発行受付

電話番号：0120-780-910 午前8時30分から午後5時30分（日祝除く）

【18歳以上で、今後、前回接種から5か月を経過する方】

○3回目・4回目用の接種券・・・前回接種から5か月経過後の毎週火曜日に発送

○5回目用の接種券・・・4回目接種から5か月経過後の毎週火曜日に順次発送予定

【12歳以上17歳以下の方】

○3回目接種は送付済みの接種券での接種可能

○今回新たに4回目接種の対象となるため、3回目接種から5か月を経過している方の接種券は9月27日（火）に一斉送付

○今後、前回接種から5か月を経過する方の接種券は毎週火曜日に順次発送

接種場所

○個別接種体制を維持：市内約400の医療機関において接種体制が整った医療機関から順次開始

※医療機関等については、市ホームページをご覧ください

○市内中心部に集団接種会場を設置（10月25日から再開）

・場所：岡山高島屋、クレド岡山、岡山コンベンションセンター

・時間帯：13時から18時まで

・ワクチンの種類：曜日別の使用するワクチンの種類は、市ホームページや県共通予約システム等にてご確認ください

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日		
10月																																	
11月					クレド岡山			クレド岡山																									
12月																																	

※10月25日からの再開となります。それまでの間は、岡山市立市民病院等の市内医療機関及び県営接種会場（岡山県医師会館・川崎医科大学総合医療センター）をご利用ください

小児接種（5歳～11歳）のワクチン接種について

【接種の努力義務化について】

(2022年2月：小児接種開始時)

小児におけるオミクロン株の感染状況が確定していないこと

オミクロン株に対してのエビデンスが十分でないこと

(2022年9月)

小児におけるオミクロン株の感染拡大の状況

オミクロン株に対するエビデンスの集積（発症予防効果の中等度の有効性、入院予防効果の接種後2か月で80%の有効性）
安全性に関する追加の情報（米国のデータ分析で安全上の懸念なし、日本の副反応報告において安全性に係る懸念なし）

➔ 努力義務化の適用

➔ 努力義務の適用なし

小児接種についても、接種の検討をお願いしたい

【3回目接種について】

○効果

新型コロナウイルスを受けけることで、新型コロナウイルスに感染しても症状が出にくくなります

5～11歳の子どもに対するワクチンの追加接種後は、オミクロン株を含む新型コロナウイルスに対する中和抗体価(※)が上昇します
また、時間経過とともに低下した初回接種による発症予防効果が、追加接種により回復すると報告されています

(※) ウイルスの感染力や毒素の活性を中和できる抗体の値のこと

○副反応

5～11歳の子どもに対する3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目接種の後と比べると、おおむね同様の症状が見られ、
2回目接種時を上回るリスクは報告されていません

■ 5～11歳の接種後7日間に現れた症状発現率の比較（ファイザー社ワクチンを使用）

報告割合	接種後の症状（2回目接種後→3回目接種後の症状の発現率）
50%以上	疼痛(72.2→73.9%)
10～50%	疲労(46.6→45.6%) 頭痛(30.1→34.0%) 筋肉痛(12.5→18.3%) 発赤(16.5→15.6%) 腫脹(14.0→16.4%) 悪寒(10.3→10.5%)
1～10%	発熱(8.8→6.7%) 関節痛(5.5→6.7%) 下痢(6.5→4.9%) 嘔吐(1.8→2.4%)

出典：特例承認に係る報告書

インフルエンザワクチンとの接種間隔について

○インフルエンザワクチンとの接種間隔
インフルエンザワクチンは、新型コロナウイルスとの接種間隔の規定がなくなったことから、同時接種も可能となりました。
※接種場所などについては、市ホームページ等をご覧ください

○インフルエンザ以外の予防接種は、原則として新型コロナウイルス接種と前後13日以上の間隔が必要

第32回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会
(令和4年7月22日) 資料抜粋

新規定

